

**ハンド・イン・ハンド募金に多くの善意をお寄せ頂きました。ありがとうございました。**

## ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金とは

”手に手をとって”を意味する『ユニセフハンド・イン・ハンド』募金の特色は、事前に登録をすれば誰もがユニセフ・ボランティアとして参加できることです。1979年の国際児童年にはじまり、40年の歴史がある取り組みです。

毎年11月～12月をハンド・イン・ハンド募金月間とし、ユニセフを支援くださる全国のみなさまが、街頭やイベントで職場で学校で、またご家庭の中で、ユニセフ募金活動に工夫を凝らしてくださっています。

山口県ユニセフ協会より各地域ボランティアの皆さんに協力を呼び掛け、昨年は11月から12月にかけて県内7ヵ所でハンド・イン・ハンド募金活動をおこないました。



男性の方の立ち寄りが多いのが宇部市の特徴(?)。頼もしい限りです!寒い日でしたが、暖かい気持ちになれました。

### ■宇部市

(コープここと宇部店店頭)



柳井市が主催する『柳井まつり』にユニセフ紹介ブース出展。来場者の方だけでなく、同会場出展者の皆さんからも善意を寄せていただきました。

### ■柳井市

(柳井パタフライアリーナ内)



オープンして半年の真新しいお店の軒先を借りてのハンド・イン・ハンド。気合いを入れてアピールしました。

### ■下関市

(コープここと新下関店店頭)



前回は応援に来てくれた女の子が、今回も頑張ってくれました。そのお陰で7会場の中では一番の募金額でした。次回も応援してね!

### ■山口市

(コープここといすみ店店頭)



昨年8月に岩国で開催された中学校体育連盟の全国大会で、ユニセフ展示ブースの応援をしてくれた女子中学生を始め、たくさんの子もたちが参加してくれました。寒い中、「ありがとう!」

### ■岩国市

(JR岩国駅改札口前)



お店主催のイベント「年末試食会」に合わせて開催しました。参加ボランティアの人数が少なく不安でしたが、多くの方から募金と労いの言葉をいただきました。

### ■周南市

(コープこことくやま店店頭)



萩市をあげて開催された「萩まつり」に合わせて、募金の呼びかけをおこないました。活動を終えた後にいただいたJA婦人部炊き出しの豚汁は最高に美味しかったです!

### ■萩市

(JAファーマーズマーケットふれあいらんど萩 店頭)

**●どなたでも気軽に参加できる活動です。秋号で本年度開催のご案内をします。あなたも是非一緒に!**

ユニセフの  
(国連児童基金)

## 活動報告

\* (公財)日本ユニセフ協会  
ホームページより抜粋

# ロヒンギャ難民危機！－新年度授業開始

[2019年1月24日 コックスバザール(バングラデシュ)発]

新年度を迎えたバングラデシュ南東部に暮らすロヒンギャ難民の子どもたち14万5,000人以上が、ユニセフが支援する学習センターに通い始めました。

## ■新年度授業開始

ミャンマーでの暴力から逃れてきた子どもたちに必要不可欠な教育の機会を提供するために、これまで人道支援機関が協力して、キャンプ全土に約1,600カ所の学習センターを設置し連携することに多大な努力をしてきました。これからの重要課題は、いまでも教育を受けていない何千人もの子どもたちに機会を提供していくことです。

最終的には5,000人の教師とロヒンギャのボランティアによって運営される2,500カ所の学習センターのネットワークに助け、今年中に26万人の子どもたちが通えるようにすることを目的としています。

「大規模なロヒンギャ難民危機には、迅速な対応が求められてきました」とユニセフ・バングラデシュ事務所代表エドゥアルド・ベイグベデルは述べました。「しかし、緊急的なニーズに対応するだけでは、すべての子どもたちに対応できませんでした。今年は、子どもたちに対する教育の質を高めることに重点を置きながら、より多くの子どもたちに教育の機会を提供できるよう規模を上げていきます。」



© UNICEF/Bangladesh

学習支援センターに通う子どもたち。

## ■一人ひとりへ、質の高い教育を

より多くの学習センターを設置することは、ユニセフが発表した、難民キャンプに暮らす子どもたちに質の高い教育の機会を提供するための広範囲かつ包括的なイニシアティブの一環です。

「ここに来るようになってもうすぐ1カ月」とミナラさん(11歳)は言います。彼女は、ミャンマーでは4年生でしたが、バングラデシュに来てからは、学習センターの泥の床や暑さが嫌で通わなくなっていました。「ここは快適よ。床が泥だらけの床じゃないから」とユニセフのパートナー団体CODECがクトウパロン(Kutupalong)難民キャンプに建設した新しい教室を見渡しました。

視覚障害のあるモトラブさん(12歳)は、学校に通っていることが確認できている障がいのある子ども約600人のひとりです。昨年、先生が彼を教室に通わせるよう母親を説得しました。教室に戻ることで、彼の雰囲気は目に見えて明るくなり、より積極的になり、今は詩を詠むのが楽しいと言います。

学習モジュールや授業計画を拡大することで、難民キャンプにおける教育の質を高めています。元々いた教師も新しく教師になった人たちも開発研修プログラムに参加しています。

「多くの子どもたちが銃弾や激しい暴力を受け、心身ともに傷を負っていることも、彼らの移動を制限しサービスを受けにくくしています。多くの子どもたちに、学習能力、身体能力、視覚能力、言語能力に障がいがあります」とユニセフ・コックスバザール現地事務所の教育担当官イファット・ファルハナ(Iffat Farhana)は述べました。「これらのすべての子どもたちに学ぶ権利があります。ユニセフは、学習センターと教師を増やすことで、すべての子どもたちが学習し、成長し、彼らの可能性を実現できる機会を提供したいのです」

## ■10代の若者への教育機会拡大も

ユニセフは、若者を対象に、彼らが必要とする知識と職業技能を習得できる教育訓練もおこなっています。現在、難民キャンプでは、15歳から18歳の若者のほとんどがいかなる教育も受けていません。この若者たちは極めて弱い立場にあり、児童婚、児童労働、人身売買、虐待そして搾取の対象にされやすいのです。

ユニセフが昨年発表した報告書の中で、このような若者たちに対して早急に対応しなければ、彼らが「失われた世代」になると警鐘を鳴らしました。

「ユニセフはこれらの支援を通して、その多くが極めて弱い立場に置かれている手の届きにくい子どもたちに、教育の機会を提供しようと努力しています」とベイグベデルは言いました。「私たちの目標は、すべての子どもたちが確実に彼らの将来を自分で決めるために必要な知識と技術を得られるようにすることです」



© UNICEF/UN0203363/Sokol

バルカリ難民キャンプの学習支援センターの外に座る女の子たち。(2018年3月撮影)

## ■補足説明

難民キャンプに暮らす18歳未満の子どもの数は約50万人、そのうち3～14歳は約30万人と推定されます。

2017年末にミャンマーでの暴力から逃れてきたロヒンギャの人々の数は約70万人で、現在難民キャンプに暮らす人の数は100万人近くです。

ユニセフなどの国連機関およびNGOは、難民キャンプ内にある教育施設のことを「学習センター(Learning Centres)」と呼んでいます。

ユニセフは2018年8月に発表した報告書、「危ぶまれる未来：ロヒンギャの子ども世代に希望を築く(原題:Future in the Balance: Building Hope for a Generation of Rohingya Children)」の中で、難民キャンプに暮らす10代の若者たちが「失われた世代」になる危険性があると警鐘を鳴らしています。報告書は、特に女の子の置かれた状況を憂慮すべきものとしています。ロヒンギャの子どもたちは、難民キャンプの教室で、英語とミャンマー語に加えて、基礎的な読み書き、算数、ライフスキルを学んでいます。

## ロヒンギャ難民緊急募金

郵便局(ゆうちょ銀行)

振替口座:00190-5-31000

口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会”  
”通信欄に「ロヒンギャ」と明記願います。”

窓口での振込の場合は、送金手数料が免除されます。

”公益財団法人 日本ユニセフ協会への寄付金には、特定公益増進法人への寄付として、所得税、相続税、法人税の優遇措置があります。  
また一部の自治体では、個人住民税の寄付金控除の対象となります。



© UNICEF/UN0148012/ Knowles-Coursin

ユニセフが支援する保健センターで栄養不良の検査を受けるアティカちゃん(10カ月)



○山口県ユニセフ協会は一昨年10月設立のため、昨年の1年間は試行錯誤の連続でしたが、みなさまのお力添えもあって、様々に活動をおこなうことができました。2019年も子どもたちの笑顔のために、さらに活動を拡げていきます。変わらぬ、ご支援をよろしくお願い致します。

● 第44回生協まつりに「ユニセフ紹介コーナー」出展します！

- 日時：3月30日(土)・31日(日)…30日は9時30分～17時 31日は9時30分～16時
- 場所：阿知須きららドーム(ドーム内3塁側スローフ横)
- 企画：ユニセフ紹介パネル展、ユニセフ関連グッズ展示、ユニセフクイズ、平和の折り紙

今年は「山口県国際交流協会」さん、「山口県JICAデスク」さん、「山口県ペルー協会」さんと一緒に、海外交流・支援をおこなっている団体が集まってインターナショナルゾーンを作ります。海外や国際支援にご興味のある方、是非ご来場ください！(ペルー協会さんではアルパカ製品の即売もおこなわれます)



昨年第43回生協まつり「ユニセフ紹介コーナー」の様子

● ユニセフカレンダー募金を開催中です

銀座の老舗文具店伊東屋様のご厚意で販売しきれなかったカレンダーを日本ユニセフ協会へ寄付していただいています。カレンダーはユニセフ募金に役立てられています。昨年に続き山口県ユニセフ協会でもカレンダー募金を開催します。

- 日時：3月20日(水)まで(開催中)
- 場所：コープやまぐちここといずみ店サービスカウンター(山口市泉町150-1)  
 ここどうもん店(山口市道場門前1-1-18)  
 ここ宇部店(宇部市恩田町2丁目2-15)  
 ここ新下関店(下関市秋根西町2丁目5-1)

募金していただき、好きなカレンダーをお選びください。素敵なカレンダーばかりですので是非お立ち寄りください。ご協力よろしくお願いいたします。ご協力いただいた募金は後日、日本ユニセフ協会へ送らせていただきます。



いろいろな種類のカレンダーがあります！

賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

いつでもボランティア大歓迎！！

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろんあなたの好きなことをユニセフ活動にいかしてみませんか？

- ♪ 絵や文章を書くのが好きな方
- ♪ 子どもが好きな方
- ♪ 手作りするのが好きな方
- ♪ パソコンが得意な方
- ♪ 学習会の組み立てと一緒に考えてくれる方 などなど



山口県ユニセフ協会

〒753-0083  
 山口市後河原210番地  
 TEL083-902-2266  
 FAX083-928-5416  
 E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp  
 URL: https://www.unicef-yamaguchi.jp

県協会地図



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。

また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

受付日：月・火・水・木・金  
 受付時間：10:00～16:00  
 山口県教育会館の裏になります。